

令和 7 年度

学業特待生選抜 S 日程

国語

出題意図

I	黒井千次「石の話」(『隠れ鬼』所収、新潮社)の一場面を素材とした。本問は語句の理解力、内容理解、文脈理解、登場人物の心情を適切に読み取る能力を問うことを意図して出題した。 特に、問五は本文における語句の理解力を判定するため出題した。また、問一〇では文脈を正しく理解したうえで語句が選べるかを問う問題を出した。さらに、登場人物の心情を適切に把握しているかを問うものとして、問二や問七を出題した。そのほか、内容を理解し説明する能力を問うものとして、問三、問八や問九を出題した。
II	岡田憲久「人間と自然の関係の文化「庭」の今」(『科学と芸術—自然と人間の調和』所収、中央公論新社)を素材とした。本問は漢字や語句の理解力、文章全体の構成、文章を読み取り内容を説明できる能力、筆者の意図を理解する能力を問うことを意図して出題した。 特に、問一や問八では語句を、問四では漢字の理解を判定するため出題した。また、文章全体を構成できる能力を問うものとして、問二を出題した。さらに、文章の細部を読み取り内容を説明する能力を判定するものとして問三、問五や問六を出題した。そのほか、筆者の意図を正確に理解できているかを問うものとして、問九を出題した。
III	清水知子「グローバル化と多文化主義の現在」(『よくわかるメディア・スタディーズ』所収、ミネルヴァ書房)を素材とした。本問は漢字や語句の理解力、文章全体の構成、文章を読み取り内容を説明できる能力、筆者の意図を理解する能力を問うことを意図して出題した。 特に、問四や問七では語句を、問一では漢字の理解を判定するため出題した。また、文章の細部を読み取り内容を説明する能力を判定するものとして問二や問六を出題した。そのほか、筆者の意図を正確に理解できているかを問うものとして、問三や問五を出題した。